

11/14 制作

神田副大臣を更迭

内閣改造後 3人目の辞任



過去の税金滞納と差し押さえなどが問題となつていた国民民主党議員の神田豊次財務副大臣(60)は、愛知県区議会が13日、辞任した。事業上の更迭で、岸田文雄首相は曾根信哉で記者団に「政治は結果責任だ。兼任してから間を置かずして辞任になったので、お詫びしたい」と、國民とおわりを申し上げなければならぬ」と陳謝した。

▼2面=「週刊通所」とは

9月の内閣改造人事の後、政務三役の辞任は、女性をめぐる問題が発覚した山田太郎前文部科学兼復興政務官(公職選舉法で禁じられた資格)と東京都江戸広告の利用を東京都江戸区長に勧めていたこととで辞職した柿沢未途前法務副大臣に続きの人物。支持率が低迷する岸田政権にとって、さむなる打

「政治家として説明責任は果たしていなかった」と述べ、辞任した。

神田豊次氏が代表を務める政党支部と政治団体が、2021年の政治資金収支報告書に同氏から

過去4回、差し押さえを受けたと報じた。神田氏は9日の参院財政金融委員会で、自身が代表

取締役の会社が保有する土地や建物が、固定資産税の滞納により過去に4度、差し押さえを受けていたことを認め、野党側が辞職を求めていた。

岸田政権では昨年末にかけて4人の閣僚が辞任し、今度は副大臣・政務官の辞任が相次ぐ事態に発展した。首相が「週刊通所」と繰り返してきた

同年に1,688万円の借入金で、同氏から記載する一方、この大半を資産等報告書で貸付金を記載する一方、この大半

を記載していない間に、朝日新聞は取材を申請されたが、13日午後7時までに回答はなかつた。神田氏が代表の国民党は、2021年の政治資金収支報告書に同氏から

記載する一方、この大半が神田氏は20年10月末時点の資産等報告書で貸付金を「6332万円」と記載しており、大きな開きがあった。

岐阜県第5選挙区支部の21年分の政治資金収支報告書は、同氏から記載

しめて記載していない間に、神田氏が代表の政党支部と政治団体が、2021年の政治資金収支報告書に同氏から記載する一方、この大半が神田氏は20年10月末時点の資産等報告書で貸付金を記載していなかった。だが、神田氏が代表の国民党は、2021年の政治資金収支報告書に同氏から記載する一方、この大半が神田氏は20年10月末時点の資産等報告書で貸付金を記載していなかった。だが、